

■源博雅 公卿・雅楽家。醍醐天皇の孫で、博雅三位，長秋卿。管絃の名手で、現在でも演奏される「長慶子」の作曲者。

みなもとのひろまさ

高麗建国・・・ 918＝

醍醐天皇の第一皇子克明親王と左大臣藤原時平の娘の長男に生まれる。

誕生時，虚空に音楽が聞こえたと伝説されるほど，早くから音楽の才を発揮，

初め博雅王を名乗るが，源朝臣姓を与えられて臣籍降下する。

延喜式撰進・ 927＝ 9歳：

・・・・・・ 934＝16歳：二世王待遇の蔭位により従四位下に直叙される。

承平天慶乱始 935＝17歳：

高麗統一・・・ 936＝18歳：

雅楽に優れ，楽道の伝承は郢曲を敦実親王に，箏を醍醐天皇に，琵琶を源脩に，笛は大石峰吉，箏箏は峰吉の子・富門と良峰行正に学んだと言い，管楽器大箏箏の最後の奏者であった。舞や歌は好まなかったと言う。かの貞保親王のように，“管弦の仙”と呼ばれるほどになり，

承平天慶乱終 941＝23歳：

・・・・・・ 943＝25歳：時平の三男で和歌や管弦に優れた藤原敦忠が死去すると，宮中の行事に必ず召され，何かの支障で参内できないと，行事そのものが中止されてしまうほどであった。

・・・・・・ 945＝27歳：この年，紀貫之が死去している。

・・・・・・ 947＝29歳：中務大輔，

・・・・・・ 951＝33歳：内宴で和琴を奏する。

・・・・・・ 954＝36歳：

呉越国返書・ 957＝39歳：右馬頭を経て，

・・・・・・ 959＝41歳：右近衛中将に任ぜられ，

宋建国・・・ 960＝42歳：いわゆる“天徳四年内裏歌合”に講師として参加，和歌を詠ずる役であったが，天皇の前で緊張し，出されていた歌題とは異なる歌を読んしまうという失敗をしたという。

・・・・・・ 963＝45歳：

・・・・・・ 964＝46歳：左近衛中将になったように，村上朝後半は近衛中将を務める。

・・・・・・ 966＝48歳：*村上天皇の勅で，「新撰楽譜(長秋卿竹譜)」(別名「博雅笛譜)」を撰する。“管弦の長者”貞保親王が撰進した「新撰横笛譜(南竹譜)」以来45年ぶりであった。

延喜式施行・ 967＝49歳：近衛中将を辞し，

安和の変・・・ 969＝51歳：円融朝に入ると，皇太后宮権大夫に任ぜられて，皇太后・昌子内親王に仕え，

・・・・・・ 972＝54歳：

尾張国守罷免 974＝56歳：従三位に叙せられ公卿に列した。

・・・・・・ 980＝62歳：_没した。

直後の。藤原実資の「小右記」には，'博雅の如きは文筆・管絃者なり。ただし，天下懈怠の白物(しれもの)なり'と評されている。また，言い伝えによると酒に強く，酒豪であったとされる。朱雀門の鬼から名笛“葉二”を得，琵琶の名器“玄象”を羅城門から探し出し，逢坂の蟬丸のもとに3年間通いつづけて遂に琵琶の秘曲「流泉」「啄木」を伝授された話，ある日，博雅宅に盗人が入った。博雅が床下に隠れていると，盗人は次々と家中の物を盗み出してゆくが，博雅が落ち着き払って床下で笛を吹き出すと，盗人は感じ入って盗んだ物をみな返し，家から出て行ったという話など，_多くの説話に登場し，彼が作曲したという「長慶子」は，現在も雅楽演奏会の最後の退出音声として奏され，二人の息子は“双調の君”と呼ばれた音楽一家で，その一人の家系が桂流の琵琶道を継いでいる。